

横須賀市自然・人文博物館付属

馬堀自然教育園／天神島臨海自然教育園・天神島ビジターセンター

しぜんきょういくな

自然教育園だより

Vol.4 No.2

(2011年夏号)

2011年7月15日発行

横須賀市自然・人文博物館

046-824-3688

この夏、自然教育園 (ビジターセンター) の展示にも注目!

天神島ビジターセンター

天神島ビジターセンターでは、2009年9月から海の生き物の水そう展示をしています。

水そう展示の良いところは生き物を間近で見ることができ、実物の特徴や動きなどを確かめられることです。例えば、ハゼの仲間のアゴハゼとドロメの幼魚は、春先から初夏にかけて見られ、たがいによく似ていますが、水そうでじっくり見比べると違いがわかるようになります。海の中では透明で見つけづらいイソスジエビも簡単に見ることができます。

また、潮の干満を気にしなくて良いので、いつでも見ることができることも利点です。気軽に見られるので、来館者が海やそこに暮らす生き物について興味をもつきっかけにもなります。

水そう内では天神島の周囲でごく普通に見られる生き物を基本に展示しています。中にはホンヤドカリのように1年を通して見られる生き物もいれば、チョウチョウウオのように特定の季節にだけ現れる生き物もあります。その時に旬となる生き物を選んで、



水槽展示



ケフサヤドカリ



水そうの生き物紹介カード

少しづつ変化をつけ、季節の移り変わりが感じられるように工夫をしています。

天神島の自然のごく一部ですが、観察の参考に、または海の中の様子確かめに、ぜひご来館ください。

馬堀自然教育園 (学習棟)

2011年6月に馬堀自然教育園学習棟の展示を更新しました。

馬堀自然教育園の歴史と役割、動植物や地質を紹介するパネルを設置し、教育園の自然をわかりやすく解説しました。教育園内で採集された標本もあわせて展示しています。

飼育水そうには生き物の解説パネルを設置しました。ホタルの幼虫やトウキョウサンショウウオ、アカハライモリ、ヤマトヌマエビなどの観察のポイントを紹介しています。

学習棟入り

口には教育園のエリアマップを設置しました。教育園の最近の見どころをエリア別に調べることができます。



自然教育園の自然をパネルで紹介しています

【馬堀自然教育園の歴史と役割】(解説パネルより)

歴史:

馬堀自然教育園は1959(昭和34)年に博物館付属施設として開園し、徐々に観察路や水路の整備などが行われました。三浦半島の自然環境の保全だけでなく、希少な生物の保護にも努め、観察会などにより環境教育・学習の場としても活用しています。



飼育水そうと生き物の解説パネル

管理と役割:

1. 森林(里山)の保全管理、来園者の安全確保
2. 野生生物の“避難場所”として保護・育成
 - 1) 在来生物を保護する“サンクチュアリ(聖域)”
 - 2) 希少生物の飼育・再生
3. 生態学的な調査・研究の場と研究試料の提供
4. 飼育・栽培実験による自然保全・再生モデル(水路など)の提供
5. 環境教育・学習の場、教材の提供
 - 1) 動植物に親しみ観察する機会(「自然観察会」など)の提供
 - 2) ピオトープ(生き物のすみ場)作り: 学校や地域への貢献

▶ 自然教育園での出来事 (2011年3月～2011年5月) ◀

馬堀自然教育園

3月1日 ウメの木にメジロ、ヤマガラ、コゲラが来ていた (a)。

3月2日 夕方、トウキョウサンショウウオの成体を7匹見た (c)。

3月9日 イロハモミジ、ヤマネコノメソウ、ウグイスカグラ、エノシマキブシ、シュンラン、フキが咲いていた (a,b)。

3月10日 シメが来ていた (a)。ウグイスが鳴いていた。



3月15日 アカハライモリの求愛行動が見られた (b)。シロハラがいた (c)。

3月19日 ヒサカキの雄花が咲いていた。トウキョウサンショウウオの卵のうちで胚が動いていた (c)。

3月24日 ヒサカキの雌花が咲いていた。

3月30日 ヤマザクラ、ワサビが咲いていた (a)。クワゴマダラヒトリの幼虫が多数見られた (c)。



ヤマザクラ (4/3)

4月2日 カワセミが枝にとまっていた (a)。タチツボスミレが咲いていた (a)。コジュケイが鳴いていた。

4月3日 アケビ、ミツバアケビ、セキショウが咲いていた (a)。ムラサキケマンが咲き始めていた (a)。

4月5日 ウラシマソウが咲いていた。

4月6日 神社参道にアズマモグラの痕跡があった。

4月7日 セリバヒエンソウが咲き始めた。

4月8日 ヤブタバコ、オニタバコが咲いていた。アカハライモリの卵を確認した (c)。

4月15日 ヒヨドリ鳴きの声を聞いた。



ホウチャクソウ (4/17)

4月16日 カワセミを確認した (a)。ホウチャクソウが咲いていた (a)。ナナフシモドキの幼虫がいた (a)。

4月17日 コナラ、クヌギ、ケヤキ、エノキの花が咲いていた。モチノキの花がたくさん落ちていた (d)。セリバヒエンソウが咲いていた。



セリバヒエンソウ (4/17)

4月20日 エビネのつぼみが膨らんでいた (e)。ミスジマイマイがいた。

4月22日 スジグロシロチョウとキチョウを見た (a)。キランソウが咲いていた (a)。カキド



ヤマネコノメソウ (4/8)

オシが咲いていた (e)。

4月26日 フジが咲いていた (b)。

4月28日 オニグルミの花が咲いていた (a)。マルバウツギ、ミズギが咲き始めていた。アサヒナカワトンボを今シーズン初めて確認した (c)。同じ場所に翅の傷んだカラスアゲハがいた。



エビネ (5/2)

いた (e)。アカハライモリを22匹確認した (c)。キムネクマバチが飛んでいた (a)。

5月7日 ハコネウツギが咲いていた。

5月8日 朝、カワセミのオスがダイビングをしてえさをとっていた (a)。園路でカワトンボを9匹確認した。アカハラが水浴びをしていた (a)。クロアゲハ、キアゲハが飛んでいた。



ギンラン (5/2)

5月10日 キンランが咲いていた。アオスジアゲハが吸水していた。つがいのシジュウカラがスズメに追われていた。

5月14日 ミヤマナルコユリ、ヤマツツジが咲いていた。

5月17日 コジャノメを見た (c,e)。エナガを見た (f)。

5月18日 オオミズアオが休んでいた。

5月21日 トベラ、テイカカズラ、トウバナ、コナスビが咲いていた。ヤマグワの実が熟してきた。オオヒラタシデムシがいた (d)。

5月22日 ヤマアカガエルが園路を歩いていた (c)。

5月24日 キアシドクガが8匹飛んでいた (a)。



オバボタル (5/26)

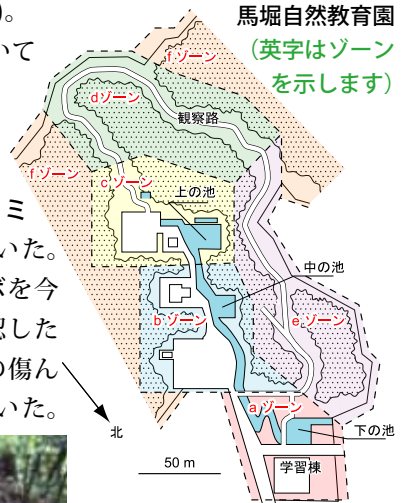
5月26日 オバボタルを見た (a)。オオシマザクラの実が熟してきた。

5月28日 サケツバタケが生えていた。



サケツバタケ (6/5)

5月31日 フウトウカズラの雄花が黄色くなっていた。モンシロチョウがオオバイボタの花で吸蜜していた。ヒヨドリがハクセキレイを追い払っていた (a)。



馬堀自然教育園 (英字はゾーンを示します)

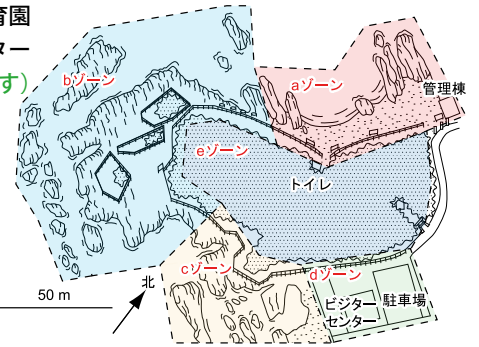
ツバメが飛んでいた (a,e)。

4月30日 エビネが咲き始めた (e)。

5月2日 ギンランが咲いて

天神島臨海自然教育園

天神島臨海自然教育園
およびビジターセンター
(英字はゾーンを示します)



3月3日 キジバト 20羽がエサを探していた (e)。イソヒヨドリが飛びながらオオバグミの実を食べていた (a)。

3月4日 海藻の間でクサフグが休んでいた。周囲にはツツナミガイが集まっていた (b)。越冬したキタテハが砂浜にいた (a)。



キタテハ (3/4)

3月5日 浅瀬でアメフラシ、セトミドリガイ、アオウミウシが見られた (b)。トビが巣材を運んでいた (e)。イソヒヨドリのメスがいた (d)。



セトミドリガイ (3/5)

3月6日 ハヤブサ 1羽が南へ飛んでいった。

3月11日 宮城県沖で大地震が発生し、天神島でも大きな揺れを感じた。

3月17日 一時期みられなかったクロジを見た (e)。

3月19日 磯でキヌバリ、ドロメの幼魚が見られた (b)。

3月20日 岩場で休んでいるウミウ 9羽が見られた (b)。

3月24日 笠島にいるコサギ 123羽、ダイサギ 10羽、アオサギ 10羽を確認した。アマモ場でタカノハダイの幼魚、クロヘリアメフラシ、ブドウガイ、コノハミドリガイ、ユビナガホンヤドカリが見られた (a)。キケマンが咲いていた (e)。

3月25日 林縁でホオジロが見られた (e)。イソシギの求愛行動を見た。ヒガンフグが磯の浅い部分にいた (b)。



キケマン (3/24)

3月27日 夏羽のカムリカイツブリが岩場近くで見られた (b)。

3月30日 イソニナの集団がマツバガイを食べていた (b)。植え込みにキラソウが咲いていた (d)。



キラソウ (3/30)

4月2日 ミサゴが笠島近くでエサを

とっていた。コチドリがいた (c)。ハシボソガラスが巣材を運んでいた。オオシマザクラが咲いていた (e)。

4月3日 ツバメを今シーズン初めて確認した。磯でヒメクロモウミウシ、ケシウミアメンボが見られた (b)。

4月7日 ハシボソガラスの巣がトビに取られていた (e)。別のトビのペアが空中で餌渡しをしていた。

4月8日 林内でタイワンリスを確認した (e)。

4月9日 夏羽のユリカモメ 20羽が飛んでいた。

4月14日 ハマエンドウの花が咲いていた (a,b,c)。カワウが南へ巣材をもって飛んでいった。コジュケイの声が聞こえた (e)。モンシロチョウが飛んでいた (b)。

4月15日 冬鳥のツグミがまだ見られた (c)。カクベンケイガ

ニ、フナムシがよく見られるようになってきた (b)。

4月21日 西の沖合いにオオミズナギドリが5000羽以上群れて飛んでいた。ウミネコ、オオセグロカモメともにほとんど若鳥ばかり見られるようになった。

4月24日 連日の強い南西の風で大量のゴミが打ちあがった。打ち上がった流木に死んだオオスズメバチがいた (c)。

4月30日 クロサギ 1羽を笠島にある巣で確認した。今シーズン初めてチュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギを確認した (b)。磯でドロメの幼魚、アメフラシ、アオウミウシ、ムカデミノウミウシ、マダラウミウシを見た (b)。ハマヒルガオ、マルバシヤリンバイの花が咲いていた (a,b,c)。



ムカデミノウミウシ (4/30)

5月5日 キョウジョシギ 40羽以上が飛んでいた。キヌバリが大きくなっていて (b)。同じ場所ではヘビギンポ、クロシマホンヤドカリ多数、ホシゾラホンヤドカリを確認した。



ホシゾラホンヤドカリ (5/5)



クロシマホンヤドカリ (5/5)

5月7日 クロシタナシウミウシを見た (b)。

5月8日 釣り糸が絡まったウミネコの幼鳥を保護し元に戻した。スズメがキアゲハの幼虫を食べていた (a)。

5月12日 林の中からセンダイムシクイのさえずりが聞こえた (e)。海上ではコアジサシの30羽ほど群れを今シーズン初めて確認した。低木の茂みでオオヨシキリがさえずっていた (a)。



キアゲハの幼虫をくわえたスズメ (5/8)

5月13日 岩場でコチドリが見られた (c)。林の中でシジュウカラのオス 2羽がメスをめぐって争っていた (e)。林縁でカナヘビを見た。アオスジアゲハ、モンキアゲハ、ナナホシテントウが見られた (b,e)。外壁にハイロヤハズカミキリがいた (d)。



ハイロヤハズカミキリ (5/13)

5月19日 潮だまりでマメ



マメコブシガニ (5/19)

コブシガニとスベスベマン
ジュウガニがいた (a)。

5月20日 シジュウカラの
幼鳥がいた (e)。アサギマ
ダラが飛んでいた。潮溜まり
でメジナ、アゴハゼの幼
魚が見られた (b)。

5月26日 草地にアカサシガメ、オオヒラタシデムシ、交尾

をしているナガメがいた (a)。
ホシベニカミキリがいた (e)。

5月27日 笠島にある巣で
クロサギのヒナを2羽確認
した。水面を移動するハシ
ボソミズナギドリと天神島

5月29日 カルガモ2羽が打ち上がった海藻を食べていた (c)。



アカサシガメ (5/26)

▶ 博物館行事レポート ◀

自然観察会「横須賀市西岸の地層」

(5月22日・参加者29名)

地質の日記念行事・協力：三浦半島活断層調査会

天神島に集合し、横須賀市佐島～秋谷の海岸を歩きながら地層を観察しました。天神島では岩場で見られるスコリア凝灰岩や火山豆石、断層、注入構造、ポットホー

ルなどを観察しました。その後、子産石バス停付近まで歩き、立石の岩石(緑色凝灰岩)や子産石(ノジュール)を観察しました。3月の地震の影響もあり、参加者からは地震や活断層の質問もたくさんいただきました。三浦半島の生い立ちや大地の変動を議論する活発な観察会となりました。(柴田 記)



観察会の様子

▶ 自然教育園イベント紹介 ◀

— 博物館教室 —

植物の観察と分類：秋冬編

馬堀自然教育園で花や果実のつくりを通して分類を学び、身近な秋の野草を観察します。2011年10/23, 11/6(各日)10:00-12:00。馬堀自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円/回。締切：10/9(日)。

— 夏休み企画 —

夜の昆虫かんさつ

昆虫の中には、夜になると活発になるものがあります。こうした夜の昆虫の生活を、海沿いの環境で観察する調査を体験しましょう。2011年8/6(土)17:00-20:30。天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。締切：7/23(土)。

— 天神島めぐり —

天神島臨海自然教育園内で見られる動植物や地層を観察します。10:30-12:00 天神島臨海自然教育園。対象は小学生以上20名(ただし、小学生は保護者同伴のこと)。野外保険料50円。

1. 海浜昆虫

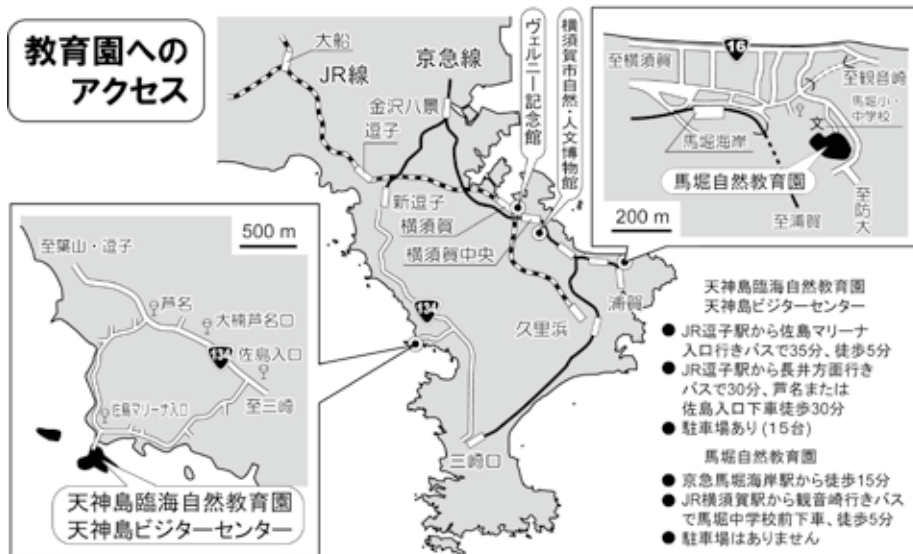
三浦半島の沿岸に天神島には海岸・草原・林があり、小さな昆虫達にとっては多様な変化に富んだ環境です。さまざまな環境にくらすいろいろな昆虫を観察しましょう。2011年10/16(日)締切：10/2(日)。

2. 海鳥

越冬のため三浦半島の海に渡ってくる北方から冬の間海鳥たちを観察します。2011年12/4(日)締切：11/20(日)。

▶ 横須賀市自然・人文博物館 附属自然教育園 ◀

教育園への
アクセス



馬堀自然教育園

〒239-0802 横須賀市馬堀町4-10-3
TEL 046-841-5727 (FAX 共用)

神奈川県指定名勝・天然記念物
天神島臨海自然教育園

(ビジターセンター)

〒240-0103 横須賀市佐島3-7-3
TEL 046-856-0717 FAX 046-857-5219

博物館本館

〒238-0016 横須賀市深田台95
TEL 046-824-3688
FAX 046-824-3658

休館・休園日 月曜日・年末年始

※ 2011年は5月2日(月)を開館・開園、5月6日(金)を閉館・閉園
開館・開園時間 9:00-17:00
(自然教育園 10～3月は16:30まで)

博物館ホームページでも、「自然教育園だより」をご覧ください！

(<http://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp/>)